

水	アルコール希釈剤	IPA
○	○	○

タケシール 液状パテ

1液型の水性液状パテ

造形物全体に総パテしたい時にピッタリなのがこの
タケシール液状パテです。

粘度調整も容易で目的に合わせてカップガンで吹き付けたり、
刷毛・ローラー塗りが可能です。また高粘度の状態で使用すると
厚塗りもでき、スチロールでは表現しにくい細かい
ディテールも可能です。

希釈剤にイソプロピルアルコールを使用すると乾燥時間も短く
なります。

製品特徴

SP-Mの良いところを残したまま吹き付け可能になりました。

水希釈で使いやすいように調整できます。

刷毛で厚塗りすることにより凹凸をつけることが可能。

薄く塗ることでスチロールの表面を滑らかにすることが
可能。

スチレンガードの下塗りで使用することでピンホールの
可能性を軽減できます。



荷姿

タケシール液状パテグレイ : 20kg缶入り

タケシール液状パテグレイ : 4kgポリペール入り

タケシール液状パテ白 : 20kg缶入り

タケシール液状パテ白 : 4kgポリペール入り

ご使用方法

吹き付けの場合

適度に水で希釈してご使用ください。目安は口径2.5mmカップガンをご使用の場合で水約6%~7% (本剤100gに対し水6~7gの割合、薄吹き)を混合してお使いください。



ポイント: タケシール液状パテ (吹き付け)→タケパテ SP-M→タケシール液状パテ (吹き付け)の順に総パテすることで綺麗な仕上がりが得られます。

刷毛塗りの場合

希釈なしで塗布することで浅い欠損箇所はカバーすることができます。またボテッと塗り上げることでナイフ等で切削ができ細かいディテールが表現できます。



ポイント: 欠損箇所には無希釈で、吹き付けしにくい箇所には水で希釈して塗布するなど用途に合わせて粘度調整して下さい。

タケシール液状パテとタケパテSP-Mとの組み合わせ例として

- ①あまり希釈していないタケシール液状パテを刷毛、ローラーで塗布し細かい欠損を補修
- ②補修しきれていない欠損箇所をタケパテSP-Mで補修
- ③希釈したタケシール液状パテを吹き付けで総パテなどがあります。

※ご使用にあたってのご注意

本品は、放置しておくとしリン状に変化しますが、これは不具合ではありません。ご使用になられるときは缶を逆さまにし、よく振ってください。